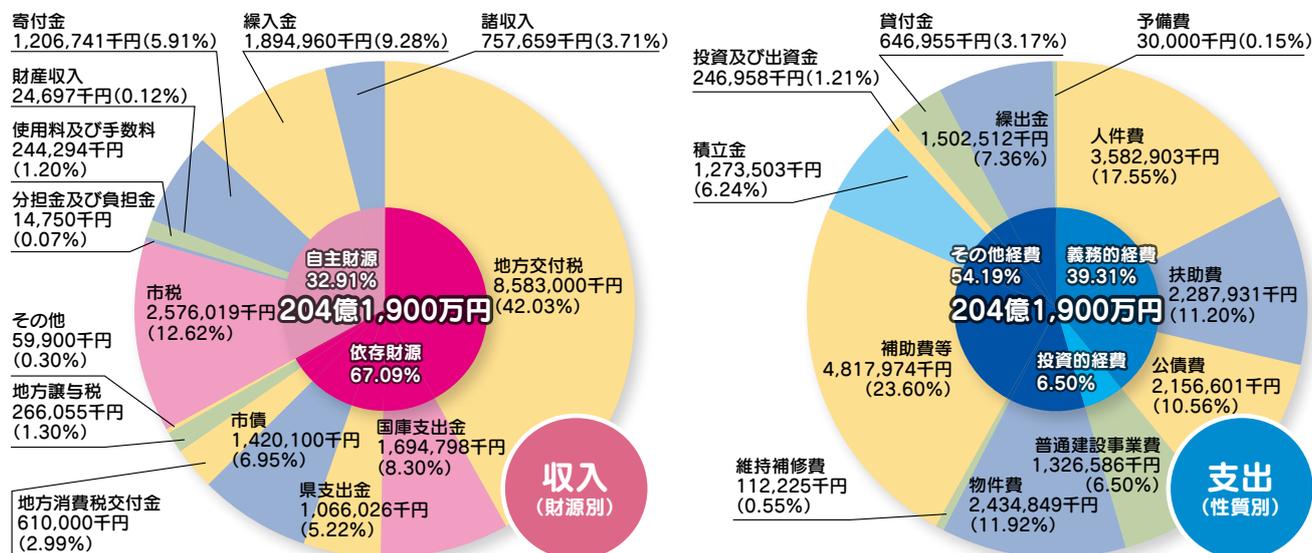


令和4年度 一般会計予算の内訳

令和4年度一般会計予算は、昨年11月には収束するかに見えた新型コロナが、令和4年になって再び猛威を振るい、市民生活や市内経済活動に多大なる影響を及ぼしている状況のなか、前年度比3,100万円減(-0.2%)の204億1,900万円が計上されました。コロナ禍により、市税収入をはじめとした自主財源及び、国県の補助金等の歳入確保がまだまだ不透明であり、市財政も非常に厳しい状況となっております。しかし、こうした中にあっても、市民生活を守るため、コロナ禍における感染防止対策や3回目以降のワクチン接種事業の迅速な実施、また、落ち込みの激しい市内経済への対策やポストコロナ時代への対応など、終息後も見据えた施策を打ち出していくなどの積極的な取り組みが求められます。



令和4年度 一般会計当初予算の主な事業

新型コロナウイルス感染症が、今なお猛威を振るう中、令和4年度の主な事業として、生活支援では、子どもの医療費の無償化を高校生まで拡充するとともに、最大1,000円の窓口負担も廃止する予算を計上した。市民の安全・安心確保の取り組みとして、新型コロナのワクチン接種関係経費や内陸線の中村踏切への遮断機・警報器設置の補助金を計上している。また、7月を目途にした第三セクターの統合に向けて、三セク4社の借金を肩代わりする予算として、2億7,325万円が計上されている。昨年度は、一般会計から、特別会計事業及び企業会計事業に24億6,528万円を繰出していたが、病院事業への減額などから、今年度は23億7,768万円の繰出し金と補助金を計上した。特別会計事業及び企業会計事業の更なる経営改善を期待したい。

令和4年度 一般会計当初予算の主な事業

(千円)

公共施設マネジメント事業費	154,364	田沢湖庁舎の冷暖房エアコン設置、各階に非常用電源整備、洋式シャワートイレ設置
政策支援アドバイザーの委嘱	3,436	田口市長の政策全般について、立案&実施支援を行う政策支援アドバイザーを委嘱
三セク借入金返済の貸付金	237,255	第三セクター4社の統合前にそれぞれの借金を返済するために市が貸付する
中村踏切遮断機・警報器設置補助金	11,370	平成に2件の死亡事故があり、令和3年4月に車の衝突事故が発生した踏切
高校生までの医療費の無償化等	17,070	高校生までの医療費を無料にする。最大1,000円の窓口負担も無料にする
若者マイホーム取得助成金	11,000	45歳以下の夫婦に仙北市内に定住するための住宅取得を助成する経費
有害鳥獣駆除事業費	5,810	最近増えているコノガキとイソノ捕獲の報奨金交付で増額した
商工業者等販売促進支援事業費補助金	3,750	ネットショップ等でサイトの改修や商材の写真撮影などに係る経費の助成
田沢湖・角館観光協会補助金	26,780	田沢湖・角館観光協会への仙北市からの補助金
仙北市商工会補助金	9,900	仙北市商工会への仙北市からの補助金
冬期交通対策費	22,263	冬期の除雪費※令和3年度は約6億円の支出になっている(2,200万円では足りない)
火よけ地復元調査費	1,860	旧角館庁舎跡地の発掘調査を実施し復元方法を検討する
特別会計及び企業会計への補助金等	2,377,675	病院事業へ9億2,649万円、下水道事業へ7億円、水道事業へ1億9,045万円など
(第1号補正) 飲食店緊急支援金	15,368	売り上げが20%以上減少している飲食業者に10万円を支給する
一般会計市債(借金)残高	228億2,366万円	令和3年度末は235億872万円だったので6億8,506万円減少
財政調整基金(貯金)残高	5億7,326万円	令和3年度末は9億5,317万円。平成28年度末は27億円ありました